

# 同窓会報



第36号

令和7年2月28日発行  
発行/岩手県立岩泉高等学校同窓会  
印刷/有限会社宮古プリント  
TEL0193-62-2453 FAX0193-64-0755

## 会員の皆様へ



同窓会長  
三田地 泰正

謹んで新年のお喜びとご挨拶を申し上げます。日頃より本校の教育活動、学校経営に深いご理解とご支援をいただき心から感謝と御礼を申し上げます。

昨年は元日に大規模な地震が北陸地方を襲いました。被災された方々にお見舞い申し上げますとともに一日も早い復旧・復興を願うばかりです。世界に目を向けると昨年からはロシアによるウクライナ侵攻が続き、中東・アジア情勢は混迷を深めています。

このような中で我が国は戦後八十年を迎えます。核兵器のない世界を実現するために訴え続けることが大切だと改めて感じます。今年は世界各国から英知が集結する大阪・関西万博が開催されます。情報化社会が一層進展する中、実物を通して世界への理解を深める貴重な機会となることでしょう。

学校現場では教職員をはじめとする関係者のご尽力により、学びを保証し卒業生を送り出す時期になりました。この間のご苦労に心から敬意を表します。少子高齢化社会や人口減少社会の昨今を背景にした教育の在り方、グローバル社会を見据えた人材の育成、DX、地域との連携、多様性を重

視した教育など、その表現が喫緊の課題であることは周知の通りであります。同時に近未来の社会状況、職業の在り方の変化、判断力・表現力の育成、人間性や学びに向かう力など教場での成果が求められています。岩泉町も岩泉・田野畑地域唯一の県立岩泉高校が文武両面にわたり、さらに魅力ある学校になるよう多大な支援をしています。これまでも生徒に対する通学費の補助・健全育成及び教育振興費、生徒の抱く夢実現のための事業費の補助、大学進学の入学金、在学中の授業料の一部助成の他、入寮生への支援、教育費の支援を拡充するなど予算化し全町民を挙げて本校のさらなる振興・進展に努めていきます。教育現場が大きく変化する中、面積が広大で公的交通機関にも恵まれない通学困難な地域である当町の実情をご賢察いただき、将来を担う人材の育成のためにも必要不可欠な本校が県教委の英断と町村民・同窓会・関係者各位の活動が通じ継続されています。本校を見守ってくれる皆様方の力に計り知れないものを感じ改めて御礼申し上げます。教育政策で学校と地域との共同関係を強める路線は一貫して続いています。「地域とともにある学校」は本校の強化・立て直しのための今後重要な理念と思われれます。多忙化・複雑化・困難化する環境下での生徒数の確保と教員を充実することが不可欠であり、政治の責任において教育への投資と確保がいっそう求められます。社会が生徒の成長を支える好循環をつくるために同窓会一丸となって全力で支援します。今後も本校が夢に溢れ学ぶ喜びに満ちた志をたてて、

力強く人生を歩んでいくための教育環境整備、充実に向け努力します。

一昨年の十月に本校創立80周年記念事業が行われました。本校の歴史と伝統をしっかり振り返り支えて頂いた先人に学び思いや願いを大事にしながら改めて感謝と敬意を表す場になりました。開校以来長年にわたり本校の進展に寄与して頂きました先人の方々の努力・地域の皆様方・保護者・諸先生に改めて御礼申し上げます。社会の変化と教育を巡る状況も変化が増しています。こうした中、我々が見るべきは生徒の未来と本校の姿であります。卒業後も多くの人々と出会い、大いに見聞を広めゴール地点は地元をと望んでいます。

終わりに関係各位の一層のご理解とご指導をお願い申し上げますとともに皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。



### ご挨拶



校長  
岩淵 雅明

同窓会の皆様には、日頃より母校の教育活動に対する物心両面からのご支援、並びにご協力を頂戴しておりますことに厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、郷土芸能同好会が8月に岐阜県で開催された全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門に県代表として参加して参りました。生徒たちは、元氣一杯に大勢の観衆の前で中野七頭舞を披露いたしました。会場には、保護者をはじめ多数の方々にも応援に駆けつけていただきました。このたびの参加に当たっては、同窓会からの補助を有難く活用させていただきましたことに、改めて感謝を申し上げます。

さて、令和6年の干支は辰であり、岩泉町にとっては誠に縁の深い縁起のいい年でした。創立81年目の岩泉高校は、まさに昇龍のごとく、飛躍の年になりました。令和7年度も生徒教職員共ども様々な活動に真摯に取り組み、更なる飛躍の年にしたいと思っておりますので、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

#### 【地域を支える学校としての取組】

本校は、「地域に支えられ、地域を支える学校」を掲げています。生徒たちの学びの中心にも、この意識がしっかりと据えられています。今年度、本校で取り組んできた「地域を支える学

校」としての活動を3点紹介いたします。

1点目は、「KIZUKIプロジェクト」です。従来の地域探究や復興学習に加え、昨年度から「郷土芸能フェス」を開催しています。第2回となった今年度は、富山県立南砺平高等学校を招聘して開催しました。あいにくの雨でしたが、町民会館が満員になるほどの盛況でした。また、泉高祭では地元産品の販売実習や地元商店とのコラボも始め、キッチンカーにも出店していただきました。「KIZUKIプロジェクト」は、より地域に密着した活動にリニューアルしています。

2点目は、「地域に開かれた学校」としての取組です。地域防災学習の一環として、岩泉小学校で「ジオラマ防災教室」を行いました。6年生と一緒に町中心部の立体模型を作ることを通し、危険箇所について学習しました。また、岩泉小学校4年生の町探検、有芸小学校の探究学習発表会の場として児童を招き、本校生徒との交流を深めました。

3点目は「高校の魅力化」についてです。本校の魅力のひとつ、岩泉町による海外短期派遣事業には7名が参加しました。今年の派遣先はオーストラリアでした。現地では農業体験なども行い、充実した研修となりました。また、令和7年度より、県外からの入学生を募集する「いわて留学」を開始します。募集定員は4名です。今後を見据えて秀峰寮の改修工事も行いました。断熱効果を高める外壁工事を行ったり換気システムを導入したりするな

ど、住環境の改善も行っています。

#### 【今年度の進路状況】

今年度は37名の新入生を迎え、全校生徒116名(男子63・女子53)でスタートしました。本校の定員は各学年80名ですので充足率は48%に止まり、学級減の危機という課題は継続しています。しかしながら、3年生の進路においては、就職が19年間連続で100%を達成。進学においても、専門学校の合格率100%、国公立大学の合格者数は、昨年度の8名に続き7名と好調です。さらにこの他にも、今後合格が期待されている生徒がいま

す。大学推薦入試においては、合格率100%の快挙を成し遂げました。生徒の努力と教職員のきめ細かな指導とが融合した成果であると捉えています。卒業生の中には、将来この地に戻り、地域の復興や活性化、林業や畜産業の振興に携わりたいことを志している者もあり、非常に頼もしく思っています。

#### 【部活動の成果】

郷土芸能同好会による中野七頭舞が全国高等学校総合文化祭に出場した他、硬式野球部が宮古高校との連合チームを結成し秋季県大会に出場しました。また、県大会ではベスト8にも躍進しました。連合チームによるベスト8以上は、県内史上初です。ボクシング部、陸上競技部、弓道部など多くの部も上位大会に出場しました。

#### 【学校情報の発信について】

一昨年度から、「広報 いわいずみ」にて、本校の活動の様子を紹介していただいております。また、本校生徒の活躍の様子はメディア・プラットフォーム「note」にも随時掲載しておりますので、左に掲載したQRコードを読み取ってご覧いただけると幸いです。普段では見られない、生徒の学校での様子や表情が見られると思います。

それは、今後とも本校の活躍にご注目いただけますようお願いいたします。



岩泉高校noteのQRコード

### 創立80周年記念誌 販売のお知らせ

岩泉高等学校は令和5年度に創立80周年を迎えました。その節目を記念して、岩泉高校の歴史、特に直近10年の学校の変遷を記録した記念誌を発刊いたしました。現在の岩泉高校の様子や部活動の活躍、同窓生や旧職員の寄稿等々、充実の掲載内容となっておりますので、是非、ご覧いただければと思います。ご購入をご希望の方は、岩泉高校担当者(TEL:0194-22-2720)までご連絡いただければ幸いです。

※数に限りがございますので、あらかじめご了承ください。



# 令和6年度 進路関係合格状況

令和7年2月17日現在

## 【進学】

### ●国公立大学

北海道教育大学函館校 国際地域学科 地域協働専攻
帯広畜産大学 畜産学部 畜産科学課程
北見工業大学 工学部 地域未来デザイン工学科
岩手大学 人文社会科学部 地域政策課程
名寄市立大学 保健福祉学部 社会福祉学科
名寄市立大学 保健福祉学部 栄養学科
岩手県立大学 総合政策学部 総合政策学科

### ●私立大学

東北学院大学 経済学部 経済学科
龍谷大学 経済学部 経営学部 法学部 国際学部 政策学部 (計5学部合格)

### ●公立短期大学

岩手県立大学宮古短期大学部 経営情報学科
岩手県立大学宮古短期大学部 経営情報学科
山形県立米沢女子短期大学 社会情報学科

### ●職業能力開発機関

岩手県立産業技術短期大学校矢巾キャンパス 建築科
東北職業能力開発大学校 住居環境科

### ●医療系専門学校

岩手リハビリテーション学院 理学療法学科
岩手看護専門学校
岩手県立宮古高等看護学院 看護学科

### ●各種専門学校

北上コンピュータ・アカデミー コンピュータ・ビジネス科
北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ 調理科
大原ビジネス公務員専門学校盛岡校 国家公務員・地方初級コース
北日本医療福祉専門学校 こどもマイスター養成科
MCL盛岡医療大学校 スポーツ柔整学科
北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ 高度製菓衛生師科
MCL盛岡医療大学校 歯科衛生士学科
JFTD学園 日本フラワーカレッジ
仙台ヘアメイク専門学校 美容本科 ワーキングコース
北日本ヘアスタイリストカレッジ 美容科
総合学園ヒューマンアカデミー仙台校 声優専攻
MCL盛岡ペットワールド専門学校 ペット美容トリマー科
上野法律ビジネス専門学校 法律行政学科

## 【就職】

### ●民間（管内）

株式会社 鍵屋
岩泉ホールディングス 株式会社

### ●民間（県内）

株式会社 十文字チキンカンパニー 久慈工場
糸平興産 株式会社 四季彩の宿 ふる里
株式会社 KY コーポレーション

### ●民間（県外）

水戸屋開発 株式会社 ホテルニュー水戸屋
三浦建設工業株式会社
Karakami Hotels & Resorts 株式会社 秋保グランドホテル

### ●公務員

田野畑村役場
--------

(在籍 男子 20名 女子 20名 計 40名)



令和六年度 部活動成績

硬式野球部

★第71回春季東北地区高等学校野球岩手県大会沿岸地区予選

(4月27日)5月4日:東北ヒロセ野球場

(宮泉・山田・大船渡東・住田高校の4校で沿岸連合として参加)

1回戦 1-1023 大船渡 (7回コールド)

敗者復活1回戦 3-1023 宮古商工 (7回コールド)

★第106回全国高等学校野球選手権岩手大会

(7月13日)・きたきんホール

(宮泉・山田・大船渡東・住田高校の4校で沿岸連合として参加)

1回戦 1-111 黒沢尻北 (5回コールド)

★第77回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会沿岸地区予選

(8月24日)9月2日:平田公園野球場

(宮古・岩泉連合として参加)

1回戦 4-13 三陸四校連合

代表決定戦 5-14 大船渡 延長11回タイブレーク

決勝戦 0-4 釜石(沿岸地区第2代表)

★第77回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会

(9月20日)9月29日:きたきんホール

2回戦 5-12 一関第一

準々決勝 1-19 久慈(8回コールド) ベスト8

司道部

★第76回岩手県高等学校総合体育大会弓道競技宮古地区予選

(4月27日)宮古市民総合体育館

【男子個人】熊谷瑞玖(3年) 3中/12射 佐々木健真(3年) 2中/12射

菊地桐太郎(3年) 3中/21射

坂下雄斗(3年) 6中/12射 (地区1位 県大会出場)

【女子個人】小根口佳澄(3年) 1中/12射 信夫瑠花(3年) 0中/12射

工藤香雪(3年) 1中/21射 前川優葵(3年) 4中/12射

林崎紗来(3年) 2中/21射 落瀬結香(2年) 3中/12射

田代梢(2年) 1中/12射

★第76回岩手県高等学校総合体育大会弓道競技

(5月24日)26日:岩手県宮城道館

【男子個人】佐々木健真(3年) 4中/8射 坂下雄斗(3年) 3中/8射

熊谷瑞玖(3年) 4中/8射 打野将章(1年) 0中/8射

菊地桐太郎(3年) 1中/8射 計12中/40射 ※予選通過成らず

【女子個人】小根口佳澄(3年) 2中/8射 信夫瑠花(3年) 3中/8射

工藤香雪(3年) 1中/8射 前川優葵(3年) 1中/8射

林崎紗来(3年) 1中/8射 計8中/40射 ※予選通過成らず

★第86回相馬大作神社奉納弓道大会(7月28日)三戸市弓道場

【男子団体】打野将章(1年) 1中/4射 菊地桐太郎(1年) 0中/4射

佐々木健斗(1年) 0中/4射 計1中/12射

【男子個人】竹下耀晴(1年) 0中/4射

落瀬結香(2年) 0中/4射 長門李音(1年) 0中/4射

佐藤陽菜乃(1年) 0中/4射 計0中/12射

★第43回全国高等学校弓道選拔大会岩手県選宮古地区予選

(9月21日)宮古市民総合体育館

【男子個人】打野将章(1年) 2中/12射 竹下耀晴(1年) 1中/12射

佐々木健斗(1年) 2中/12射

落瀬結香(2年) 3中/12射 有原実花(1年) 0中/12射

長門李音(1年) 3中/12射 佐藤陽菜乃(1年) 途中棄権

★第43回全国高等学校弓道選拔大会岩手県選

(10月25日)26日:岩手県宮城道館

【男子団体】打野将章(1年) 5中/12射 竹下耀晴(1年) 2中/12射

佐々木健斗(1年) 1中/12射 計8中/36射 ※予選通過成らず

【男子個人】菊地桐太郎(1年) 2中/12射

田代梢(2年) 1中/12射 長門李音(1年) 1中/12射

落瀬結香(2年) 5中/12射 計7中/36射 ※予選通過成らず

【女子個人】有原実花(1年) 0中/12射

★第63回岩手県高等学校新人弓道大会宮古地区予選

(11月25日)宮古市民総合体育館

【男子個人】打野将章(1年) 6中/12射 (地区3位 県大会出場)

竹下耀晴(1年) 1中/12射

菊地桐太郎(1年) 2中/12射 佐々木健斗(1年) 4中/12射

【女子個人】田代梢(2年) 1中/12射 有原実花(1年) 0中/12射

佐藤陽菜乃(1年) 1中/21射 (地区5位 県大会出場)

長門李音(1年) 1中/21射

落瀬結香(2年) 5中/21射 (地区2位 県大会出場)

松場奈南(1年) 1中/12射

★第63回岩手県高等学校新人弓道大会

(1月12日)14日:岩手県宮城道館

【男子個人】打野将章(1年) 6中/8射 竹下耀晴(1年) 1中/8射

菊地桐太郎(1年) 2中/8射 佐々木健斗(1年) 2中/8射

計11中/32射 ※予選通過成らず

【女子個人】田代梢(2年) 0中/8射 佐藤陽菜乃(1年) 0中/8射

有原実花(1年) 1中/8射 落瀬結香(2年) 0中/8射

計1中/32射 ※予選通過成らず

サッカー部

★第76回岩手県高等学校総合体育大会サッカー競技

(5月25日)つなき多目的運動場

(宮泉・釜石・遠野緑峰連合として参加)

2回戦 0-16 盛岡第一

★第103回全国高等学校サッカー選手権大会岩手県大会

(10月6日)釜石市球技場

(宮泉・釜石・遠野緑峰連合として参加)

2回戦 2-15 盛岡第四

★第59回岩手県高等学校新人サッカー大会

(11月15日)遠野市国体記念公園市民サッカー場A

(宮泉・釜石・宮古商工連合として参加)

1回戦 0-12 福岡・北校・葛巻連合

ソフトテニス部

★第76回岩手県高等学校総合体育大会宮古地区予選

(4月24日)小山田テニスコート

女子ダブルス2回戦

佐々木ひかり(2年)・山口智美(1年) 0-0 宮古

本宮心温(3年)・柁田澤(3年) 0-0 宮古

坂本瑠華(2年)・細工藤百花(3年) 0-2 宮古商工

準々決勝 坂本瑠華・細工藤百花 0-0 宮古商工

代表決定戦 坂本瑠華・細工藤百花 3-0 宮古

★第76回岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技

(6月1日)和賀川グリーンパークテニスコート

女子団体1回戦 0-3 盛大附属

ボクシング部

★第76回岩手県高等学校総合体育大会ボクシング競技

(5月31日)6月2日:水沢体育館

男子1部バンタム級

1回戦 ●中田飛羽雅(2年) (3R0分39秒RSC) 江南義塾盛岡

男子1部ライト級

1回戦 ○藤島 叶多(3年) (1R1分38秒RSC) 千厩

準決勝 ●藤島 叶多(3年) (WP1-4) 水沢工業

男子1部ライトウェルター級

1回戦 ●川村 大輝(2年) (1R1分8秒RSC) 宮古水産

男子2部バンタム級

下屋敷 迅利 認定1位

男子マスボクシング

決勝 ●鈴口 巧真(2年) (0-3) 江南義塾盛岡 準優勝

女子1部ライト級

工藤 可乃 不戦敗

★第65回岩手県高等学校ボクシング新人大会

(11月1日)2日:黒沢尻工業高校

男子1部バンタム級

準決勝 ●中田飛羽雅(2年) (1R0分45秒RSC) 盛岡南

バレーボール部

★第76回岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技

(5月24日)花巻市総合体育館

1回戦 0-2 久慈

★第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会 岩手県予選会

(11月1日)11月4日:タカヤアリーナ

1回戦 0-2 盛岡誠毅

バスケットボール部

★第76回岩手県高等学校総合体育大会バスケットボール競技

(5月30日)奥州市総合体育館

1回戦 26-125 大槌高校

陸上競技部

2024岩手県春季陸上競技大会

5月11日)12日:純情産地いわてトラファイル

男子 5000m W 29.452 北田航太(3年) 中島謙太(3年)

1500m W 4.52 北田航太(3年) 中島謙太(3年)

400m W 1.439 北田航太(3年) 中島謙太(3年)

5000m W 29.392778 北田航太(3年) 中島謙太(3年)

女子 走幅跳出場 中屋敷探実(3年)

★第76回岩手県高等学校総合体育大会

5月24日)27日:デジタルスタジアムきたかみ

男子 400m W予選 52.042 準決勝進出

1500m W予選 4.45120042 準決勝進出

400m W予選 2.5952 準決勝進出

1500m W予選 4.29748487 決勝7位

5000m W予選 28.59.88 北田航太(3年)





部活動の活躍

感謝感激の三年間

郷土芸能同好会会長 坂下 雄斗

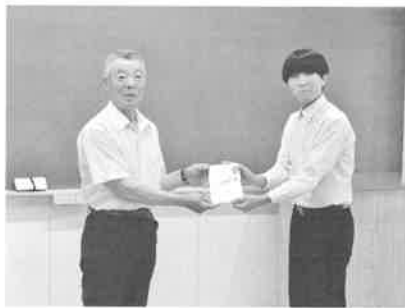
私たちが郷土芸能同好会は、令和六年八月三日から五日に岐阜県で開催された第48回全国高等学校総合文化祭清流の国ぎふ大会に出場して参りました。全国大会では様々な経験をさせて頂いたが、たくさんのお返事が届きました。

今回の全国大会出場にあたり、同窓会の皆さまから激励の言葉と、激励金をいただきました。本当にありがとうございます。皆様のご協力のおかげで、私たちは充実した全国大会にすることができました。

一日目は岐阜県までバス移動で終わりました。バス移動はとも長く、約半日かかりました。体調を崩す人も出ず、無事に岐阜まで辿り着くことができました。二日目は実際に会場でリハーサルを行いました。部長としてこの十分間のリハーサルを充実した時間にするのか、阿部先生と相談しながら考えました。また、他団体のリハーサルを見て、挨拶の仕方、礼儀など多くのことを学ぶことができました。リハーサル後の練習では、本番までの課題を解決するため、佐藤コーチと相談しながら部分練習を重ねていきました。明日がいよいよ本番。

この日の夜、「明日は、この三年間自分が郷土芸能同好会で積み重ねてきたことを存分に発揮し、悔いのないように演舞しよう」と思いました。

本番当日、スタンバイしている時、全員から緊張がひしひしと伝わってきました。そして、本番では全員の声が高まって一番出ていて三年間の集大成となる最高の演舞となりました。そ



の日は、今まで一番気持ち良く眠りにつくことができました。四日目は、生徒交流会が行われました。各団体の部長が代表として大勢の前でダンスするという貴重な体験ができました。また、私が一回失敗してしまっただけに、同じチームの他県代表の仲間から励ましの言葉をもらった時はとても感激し涙が落ちそうになりました。この生徒交流会に岩手県代表として参加して、充実した時間になりました。他のメンバーにとっても貴重な体験になったようでした。この交流会で、全国から集まった各校の芸能伝承者が郷土の芸能に強い思いを抱いていることを知り、たくさんの方と交流することができました。私は三年間の郷土芸能の活動を通じて、自分の芸能に対する見方や考え方が変わり、成長することができたと感じています。私にとって、中野七頭舞は高校生活においてなくてはならない存在となりました。

最後に、これまで熱いご指導をしてくださったコーチ、練習を始め何から何まで支えてくださった先生方、応援してくださった家族・友だち・同窓会・地域の皆様、練習会場等でご支援いただいた岩泉町の皆様には感謝してもきれません。これからも私たちが郷土芸能同好会を温かく見守ってくれと嬉しんでいます。三年間、ありがとうございます。

オーストラリア研修

オーストラリア研修を終えて

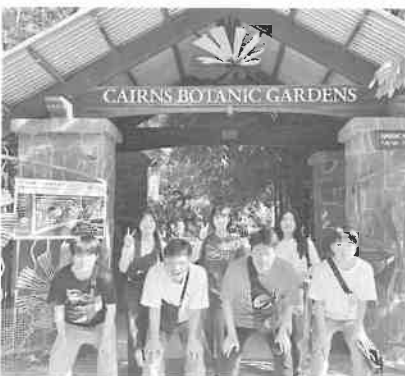
二年 三上 奈琉

私たちは、生徒七名と先生方二名、岩泉町教育委員会担当者一名の方の総勢十名で、八日間の行程でオーストラリア研修に行ってきました。私は、初めての海外ということ、不安要素も多々ありましたが、様々な経験をを通して、たくさんの方を学ぶことができました。

例をあげると、コミュニケーションや英会話などです。三日間、オーストラリア・ケアンズの家で、ファームステイという形で農業等を学ばせていただき、言語の違う方々との生活の中で、英語でコミュニケーションをとることの難しさ、大切さ、楽しさを体験することができました。また、ファームステイ先の方が、何度か日本人の受け入れを行ったことがあるとのこと、すごくわかりやすい英語で話してくれて、「学ぶ」という点と、「楽しむ」という点において、とても有意義な時間となりました。

ファームステイでは、男子グループは実際に畑を耕したり、牛や鶏に餌をあげたりしました。また、その家で育て収穫した果物を食べさせてもらいました。一方、女子

のグループでは大きな牧場で搾乳体験や搾りたての牛乳を飲ませてもらう経験をするなど、日本では中々することのできない貴重な体験をさせてもらいました。ホストファミリーのおかげで、毎日が非常に充実した時間を過ごすことができました。



一週間という研修の中では、観光とファームステイが主となりましたが、オーストラリアでより印象に残ったのは、景観の美しさです。ケアンズは、オーストラリアでも有数の観光地だということもあり、建物や海、自然の美しさに目を奪われました。今回のオーストラリア研修を通して、もちろんオーストラリアの良さを知ることができたのが、とても良かったのではないかと思います。日本では当たり前だと思っていたものが当たり前でなく、それを初めて「日本の良さ」だと気付く機会がたくさんありました。例えば、食文化です。日本では、和食・洋食・中華など様々なバリエーションの食を楽しむことができ、帰国してからは、日本の食文化の素晴らしさを感じました。他国にはない日本の良さを再認識できたことも、今回の研修の成果ではないかと思っています。私たちの海外研修という貴重な機会を与えてくださった岩泉町教育委員会の方や、引率してくださった先生方、快く送り出してくれた保護者の方々には、本当に感謝しありません。そして、この貴重な経験を、これからどのように生かしていくかしっかりと考えながら、日々の生活を過ごしていこうと思います。

同窓生の活躍



平成23年度 田野畑校卒  
高橋 奈々美 さん  
(パティスリーフェルトオーナー兼  
パティシエ)

「卒業から現在まで」

私は岩泉高等学校田野畑分校を卒業して14年になりました。少ない人数の中、優しい先生方と同級生たちとの思い出は、今も鮮明に覚えています。

私は現在、パティスリーフェルト(フランス語で『誇り』という意味のケーキ屋を営んでおりますが、自分の周りの方や地域の方のご協力により、貴重な経験をたくさんすることができた1年だったと思います。特に復興大臣である土屋品子さんが田野畑村の店舗にいらっしゃったことはとても印象に残っています。しっかりとお互いの意見をききながら震災の経験について、お店について、田野畑村を今後どのように盛り上げていきたいかなどお話しさせて頂きました。この日はいつもにも増して、とても緊張していましたが、充実した日になりました。

私はこの経験を活かし、ものづくりの楽しさを今後、町や村を引っ張って行くであろう学生たちにどんな形でもきっかけとして伝えていけないか、そのように日々の生活の中で思いはじめています。

高校2年生の時に体験し



た東日本大震災の経験を後世に伝える、『語り部』をNPO法人体験村たのはたさんからお誘いを頂き、震災について興味のある方や、学生さんの修学旅行での学習の時間の際などにお話しさせて頂くことになりました。具体的には震災当時の現地に行き、当時の様子や何が起きたのか、また後悔したこと、今後備えることよってどのようになり次に繋がるか、などお話しさせて頂いております。災害が来た時に自分だけではなく、身の回りにいる人たちも助けられるように、後悔ができるだけ無いように、そのように伝えさせて頂いています。

2024年2月に大雪が降りフェルトのすぐそば45号線が約1キロの渋滞になってしまったことがありました。食事やトイレなどきつと困っている人が多くいると思いい、夫と5歳の息子とトイレ24時間自由にお使いくださいという手書きの看板を作り、また、店舗にある食材でおにぎりやスープ、パンを作り、飲み水の提供など行いました。過去、何も出来ない悔しさを今に活かし、社会人になったからこそ後悔のできるだけ少ない大人になりたいなと思いい日々活動しています。学生時代の経験や想いは大人になっても意外と覚えていいることなので今の学生さんにも、今を精一杯楽しんで、楽しんでほしいと思います。

令和元年度卒

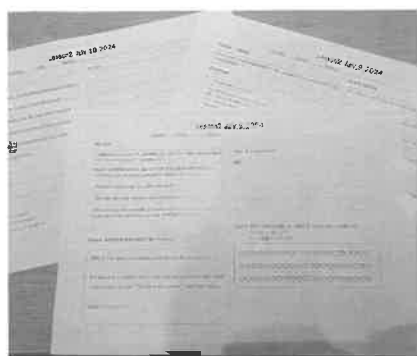
柴田 佳史 さん

仙台市聖ウルスラ学院英智高等学校勤務

この度、同窓生として同窓会報に寄稿できることに心より感謝申し上げます。拙い文章ではありますが、在学時代の思い出と近況について綴らせていただきます。在学中、私は特に英語の勉強に力を入れていました。具体的には、英語の資格試験に積極的に挑戦したほか、高校2年生のときにはアメリカのウイスコンシン州デルズ市でホームステイを経験しました。当時から英語で話すことや書くことが好きであり、高校時代に英語の勉強に打ち込んでいたことは、今振り返っても非常に印象深い出来事です。現在、私は仙台市内の私立高校で英語の教員として働いています。また、休日にはボランティアとして仙台に住む外国人の方々の方に日本語を教えています。平日は英語を教え、休日には日本語を教えるという、「外国語を教える」ことに没頭する毎日を送っています。このような生活を選ぶきっかけとなったのは、高校



ボランティアで外国人に日本語を教えている写真です。



以前、私の授業で使用していたプリントを取った写真です。

時代の英語の授業でした。在学中、私は皆川和範副校長先生(当時は英語科の教員でいらっしゃいました)から英語を教わりました。皆川先生の授業では、自分の意見や趣味、好きなことを英語で発表したり書いたりする機会が多かったと記憶しています。「英語を使って自分の考えが他の人に伝わり、と、面白いし、達成感があるなあ」。このように感じた経験が、外国語学習の楽しさを私に教えてくれました。そして、私自身もその楽しさを他の人に伝えたいと思い、英語の教員という仕事やボランティア活動を選びました。実際、私が担当する英語の授業でも、「自分の意見や考えを整理して、それを英語で他の人に伝えてみよう」と呼びかけながら進めています。改めて高校時代を振り返ると、外国語学習の面白さに目覚めさせ、私の人生に大きな影響を与えてくれたのは、実は普段の英語の授業だったのだと気づきました。

令和6年度 同窓会年会費納入者一覧 (令和6年2月1日～令和7年1月31日納入分まで)

姓 名	金 額	姓 名	金 額	姓 名	金 額	姓 名	金 額
立花 敦子	1,000	中村 謙一	2,000	木藤 定治	1,000	漆真下 正男	5,000
三上 行雄	6,000	熊谷 良一	5,000	中村 利久	1,000	佐々木 利和	2,000
三上 恵子	2,000	中村 邦子	1,000	菊池 栄一	1,000	小原 奨悟	1,000
三上 徳治	2,000	工藤 昌雄	5,000	川原畑 精一	3,000	菊池 義彦	2,000
三浦 真澄	2,000	熊谷 由基	10,000	似内 義友	2,000	根木地 俊機	5,000
鈴木 晴江	2,000	佐々木 京二	3,000	福田 育代	10,000	橋本 知実	2,000
立花 俊子	1,000	藤田 博成	1,000	玉澤 恵子	1,000	澤本 清司	2,000
竹花 恵美子	2,000	畑中 昇平	1,000	中村 公二	2,000	佐々木 八重子	1,000
坂本文 也	6,000	八重樫 典子	3,000	矢野 ミエ	5,000	北川 保子	1,000
佐々木 久幸	4,000	菊池 孝広	1,000	藤田 和久	3,000	木村 正巳	2,000
佐藤 周一	5,000	三上 義和	1,000	三田地 幸蔵	2,000	佐野 志保	1,000
畠山 貴美恵	2,000	三上 貴史	1,000	佐々木 實	2,000	熊谷 正志	1,000
長崎 基一	3,000	田鎖 昇	3,000	大関 公子	3,000	石川 やよい	5,000
橋本 金光	1,000	三田地 勝美	2,000	山崎 良子	1,000	畠山 浩二	2,000
橋本 智恵美	1,000	齋藤 ウタ	3,000	工藤 恵美子	1,000	加藤 満康	3,000
武田 保男	4,000	岩本 敦子	2,000	畠山 利昭	1,000	大弓川 和徳	3,000
遠藤 光司朗	2,000	大崎 芳江	5,000	佐藤 蓉子	2,000	深澤口 均	3,000
安藤 勝夫	6,000	作山 覺	2,000	鈴木 玲子	5,000	八重樫 勇八	1,000
高鼻 美智子	1,000	佐々木 哲夫	3,000	千葉 英雄	1,000	穂高 寛一	1,000
石黒 友子	1,000	三上 陽一	2,000	三上 潤	2,000	佐藤 昇	3,000
上ノ澤 芳康	5,000	佐々木 良治	1,000	堀井 るり子	3,000	中村 勝明	5,000
遠藤 昭男	2,000	藤澤 俊一	2,000	中村 紀雄	5,000	箱石 昌市	2,000
中村 知愛	3,000	林崎 昌子	1,000	畠山 正和	2,000	田鎖 英明	3,000
竹花 恵子	2,000	植村 敏幸	2,000	千葉 優治	2,000	田鎖 孝子	1,000
八重樫 和子	2,000	早野 かづ子	2,000	上川原 一夫	1,000	小野寺 正行	1,000
中村 行宏	3,000	小松原 進	2,000	村上 宏二	2,000	田鎖 苗美	1,000
高橋 文子	1,000	昆野 裕治	1,000	吉田 強子	3,000	中村 蓮	2,000
佐々木 勝彦	1,000	昆野 ゆかり	1,000	八重樫 巴	3,000	佐々木 忠明	1,000
佐々木 幸子	1,000	昆野 翔太	1,000	馬場 修	3,000	耕野 光信	3,000
上ノ澤 一彦	1,000	遠藤 誠治	1,000	渡邊 満里子	5,000	内村 喜郎	1,000
茅野 静江	2,000	佐々木 誠	2,000	加藤 敦子	1,000	菅原 淑子	2,000
渡辺 正子	1,000	橋本 康光	20,000	久保井 タミ子	1,000	菅原 雄樹	2,000
菅沼 戌	3,000	安藤 正雄	2,000	八木澤 佳子	1,000	穂高 貞夫	2,000
千本 孝志	1,000	佐々木 芳利	3,000	中村 知敬	3,000	工藤 充	23,000

令和6年度分 358,000円

会費納入の御協力、本当にありがとうございました。

掲載に関しては十分注意しておりますが、お気づきの点がございましたら事務局までお知らせください。

令和6年度 同窓会役員

役職	氏名	年度	役職	氏名	年度	役職	氏名	年度
会長	三田地 泰正	42	理事	武田 保男	48	理事	佐々木 誠	60
副会長	佐藤 周一	37	理事	佐々木 勝彦	50	理事	遠藤 淳	小川H2
副会長	菅原 淑子	38	理事	三田地 俊洋	50	理事	畠山 貴美恵	H14
副会長	上ノ澤 芳康	46	理事	大弓川 和徳	52	監事	佐々木 久幸	H3
副会長	佐々木 菊三郎	田野畑42	理事	熊谷 英美子	54	監事	遠藤 光司朗	H9
副会長	熊谷 正志	小川46	理事	佐々木 和江	55	事務局	阿部 恵子	総務課
理事	長崎 基一	小本42	理事	小松 義和	59	事務局	細田 富士子	総務課

学校情報サイト  
随時更新中

学校HP  
QRコード



学校SNS  
QRコード

